

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第5回入間市シティセールス戦略会議
開 催 日 時	平成27年9月3日(金) 午後2時開会・午後4時30分閉会
開 催 場 所	入間市役所A棟3階 市長公室
議 長 氏 名	小林 昌幸
出席委員(者)氏名	関山 祐介、西澤 正夫、高橋 進、椎葉 京子
欠席委員(者)氏名	相本 大地、小川 大策
説明者の職氏名	商工課 副参事 守屋 俊久
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 議題 (1) 戦略プランについて ①戦略の枠組みについて ②これまでのまとめについて (2) その他 3 その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	入間市のシティセールスを考える(資料6)
事務局職員職氏名	環境経済部部長 山崎利明、次長 増岡 清、副参事 守屋俊久、 環境経済部参事兼商工課長 宮岡利雄、副主幹 村山泰貴
戦略策定支援業務 委託業者	一般財団法人公共経営研究機構 渡部哲也、竹野克己、瀬戸忠保
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）・決定事項

次の議題について事務局から説明。

- ① については、守屋副参事より説明。
- ② については、関山副委員長より説明の後、意見交換を行った。

（１）戦略プランについて

- ① 戦略の枠組みについて
- ② これまでのまとめについて

（２）その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>小林委員長</p> <p>受託業者</p>	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>本日の議事録署名は高橋委員さんをお願いしたいと思います。議題の1、戦略プランについて。①シティセールス戦略のコンセプトシートについて、説明をお願いいたします。</p> <p>7月24日の会議では、5月22日に開きました戦略会議の議論をもとにした7月8日版のコンセプトシートをもとにして皆様に議論をしていただきました。原則的には、内容に同意をいただきましたが、アクションプランについて、さらに具体的なお意見をいただき、その結果を8月4日版のコンセプトシートとして、まとめました。皆様のお手元にあるかと存じませぬ。従いまして、7月8日版と、8月4日版の違いは、18ページ以降にございます。これまでの議論を思い起こしていただくために、コンセプトシートの前半をもとにして、入間市シティセールス戦略の特徴を簡単にお話しし、それを受けてアクションプランの改訂を説明させていただきます。皆様のお手元に先程配らせていただきましたコンセプトシートの改訂を通じて、これまでの議論を振り返るというシートを使って説明させていただきます。</p> <p>まず、このコンセプトシートというのは、入間市のシティセールスをありきたりなものにしたくないという所から始まっております。ここでは、一般的なシティセールスと入間市のシティセールスの特徴について対比をさせています。当市のシティセールスは魅力を投げかけて、問いかけようとしている。そして、一人一人を喜ばせ、幸福にしようとする取り組みである。その結果として、街の未来に結びついていく。そういう考え方で取り組んでいると思います。入間市が目指しているのは、相手を絞り込む。そ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>して、街を好きになってくれる価値観や趣向を持った人に、魅力を提示していく。その結果、個性が明確になり、ターゲットでない人にも分かりやすくなる。入間市のイメージがどんどん明確になっていって訴求力が増す。そういうことを考えております。</p> <p>現在どんな地域資源、課題、強みがあるのか、そういったことを皆さんに議論していただきました。私の入間市の①地域資源。入間市の象徴や活用できるもの。コンセプトシートでは9ページにまとめられています。入間市は、どういう資源を持っているかという、洋と和の両方の魅力を持ち合わせている。そして、独特な文化の側面を持っている。入間市の地域資源の特徴です。そして課題。これは、私の入間市と現状とのギャップですが、これから取り組んでいかなければならない課題です。若い世代、特に30代の新規居住。狭山茶の生産量ナンバーワンに頼らない新しいアプローチ、展開方法。そして、観光客、来訪者を強力にプッシュする受け皿づくり。特徴的な資産であるジョンソンタウンへの貢献と活用。そして、市内を廻る導線、移動手段の改善。そういったことが、今後考えられる課題です。</p> <p>私の入間市の強みとしては、11ページにまとめられています。懐かしさやモダンさを感じられる美しい景観や街並み。狭山茶の生産量ナンバーワンという地。独自の世界観とライフスタイル。相撲、学校給食とか、そういった子育てや教育の源流。そして、海外観光客への訴求力。精密機械など世界最高峰の技術、ものづくりの源流。そういった本来の魅力を備えているのが入間市です。このようなことから、入間市のシティセールスの方向性とコンセプトを皆さんで議論していただきました。その結果が、①②③です。</p> <p>メインターゲットはやはり、30代の若い世代、子育て世代になるのではないかと。そして、自分なりの憧れを思い続けられる街である。憧れの暮らしを思い描ける街というのがコンセプトです。さらに、ちょっとセンスが</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いい暮らし、穏やかだけどすごく満たされる、そんなテイストを持った街。そして、毎日の暮らしを味わう。そういったところが、皆さんで議論していただいた結果になっています。その結果、考えさせていただいたのが「入間にはテイスティな毎日がある」といったキャッチコピーです。このキャッチコピーというのは、私の入間市を、シティセールスとしてコンセプト化したものであって、皆様の議論の議決であり、そして、これからアクションを考えるための発信の源泉になっています。</p> <p>そして、アクションプラン。これは、テイスティな毎日をどのように具現化していくかということの課題です。ここからが、改訂版に関わってきます。①～⑤までは、7月8日版で出していただいた内容です。8月4日版で新たに加わったのは、⑥わんぱく相撲や給食に象徴される豊かな人間教育の発信。⑦春日野部屋の合宿を活用した誘客。⑧地元への誇りを高めるチーム入間を活用。そういった内容になっています。</p> <p>さらに、原版と改訂版の違いです。各アクションプランに、このプランで目指す新しい入間市像ということを追記させていただきました。その先にある入間市像を提案して、よりビジュアルライズしやすいような内容になっています。その結果、テイスティな毎日への共感と、そこへの参加ということを誘発するように心掛けました。さらに、先程申し上げたアクションプランの⑥⑦⑧の追加により、この部分は非常に、教育、文化、誇りに関する事柄です。ということは、子育て環境とか、さらに自分のテイスティをもっと豊かにしたい、という風に思われる方への力強い支援、援助、訴求力になっていると思います。子育てをするなら入間市というような訴求力がかなり強まっていると、我々は考えております。そういった意味で、入間市全体のシティセールスを、さらに訴求力のあるものにするために、非常に適切なアクションプランであるという風に考えております。以上で説明を終わります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>それでは、改訂版につきまして、前のアクションシートも含めまして、トータルで何かご質問、ご意見がありましたらお受けします。ちなみに、ジョンソントウンさんが都市景観大賞を受賞したこと、相撲も素晴らしい成績を収められたと聞きますが、追加の部分も含め改めて事務局の方から、お願いします。</p>
守屋副参事	<p>今のお話、ジョンソントウンさんの話と相撲の話がございます。先に、相撲の話をさせていただきます。全国中学校相撲選手権大会で個人の総合優勝、全国1位に黒須中の生徒がなられ、中学横綱になったというのが結果でございます。</p> <p>もう一点、国土交通省が後援する、都市景観大賞の都市空間部門でジョンソントウンさんが「大賞」を受賞しました。今年は3か所あったのですが、他は大手のゼネコンさんが入っているところですが、民間の力で、評価されたということです。補足の方は、西澤委員さんと椎葉委員さんがいらっしゃいますので、お願いします。</p>
西澤委員	<p>8月22、23日に青森県十和田市で開催された第45回中学校相撲選手権大会、こちらにおきまして黒須中学校在学中の神山龍一君が、見事に全国制覇を成し遂げ、第45代の中学横綱という称号をいただくこととなりました。昨年も、実は黒須中学校が団体戦で優勝、個人戦では塚原君が優勝しました。本年度は残念ながら団体戦の方は予選で負けてしまい全国には行っていないのですが、個人戦一人神山君が予選をクリアして出場しました。そんな中で、全国140強の選手が集まる中で、大変な激戦が予想され、本年度も強豪校が特に多い年だったのですが、その強豪選手を退け見事優勝することができました。私は、相撲にずっと携わっている者ですので、いかにこの大会で優勝することが難しいかということは、重々分かっています。昨年もそうですが、今年もこうして二連覇をすると、簡単じ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>やないかと思われがちですが、本当に難しいことなのです。私が、入間に相撲クラブを立ち上げ、相撲を始めたころは、とにかく夢のまた夢というか、その大会に選手を送ることが、まず夢でした。その中で、優勝なんていうのは思いもしないような時もありました。しかしながら、子どもたちの頑張り、くじけない心が実りまして、ここ数年、だいぶ黒須中の方も選手層が厚くなり、努力する子が優勝するのを目標にやるようになりまして、おかげさまを持ちまして、昨年初優勝そして本年二連覇。過去、同校で二連覇したことはありません。それだけ、難しい大会での優勝だということだと思えます。</p> <p>これが、シティセールスにどんな影響を、また、どんな魅力として発信できるか、私は中々そういうことには、こうあるべきだという意見があるわけではないのですが、これも、何か一つの素材になればなという考えを持っております。一応、皆さんに報告というかご理解をいただいて、何らかのヒントになればと思っております。以上でございます。</p>
守屋副参事	<p>今、お話がありましたが、春日野部屋さんとの関係で、入間合宿は10月上旬に予定があるということで、稽古の公開をしてファンと触れ合うイベントを実施し、保育所の園児100人くらいと一緒にシコを踏んだり、あるいは赤ちゃんを抱っこして撮影会をしたり、ちゃんこを去年は300人くらいの方に振る舞ったということもありました。そんなイベントを10月、春日野部屋さんが体育館の相撲場で合宿稽古がありますので、そこを利用して展開していくということで、コンセプトシートの内容をそのまま実行していくところの概要でございます。今度の9月15日号の市報に掲載されます。</p>
椎葉委員	<p>ジョンソントウンが今年、景観大賞を受賞したということで、私も大家さんから色々聞いてびっくりしたのが、景観と建物が賞をもらったのはもち</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p> ろんですが、そこでの暮らしとか市民とかも受賞の内容になったということで、私が望んでいる暮らし方、一式で賞をいただけたということで、私自身は喜んでます。大家さんもすごく喜んでいて、家族のために子どもたちのために、こういう暮らしの提案をしたいということで、すごく積極的に私たちの要望を聞いてくれるようになって、私を呼び出して、今回は良い暮らしを見せるお祭りにしたいので、ぜひ協力してほしいということで、もう5、6回話を進めています。そのお祭りというのが、9月20日に彩の森入間公園とジョンソントウンの暮らしが見えるお祭りをアウトドアフェアということでやることが決まりました、それこそ私は米軍ハウスの、所さんのような暮らしを提案したいと言っている時に、必ず出てくるアメ車、旧車のご協力を、ところざわ自動車学校の社長さんがすごく協力してくださり、フェアをすることになりました。やはり、暮らしを楽しむ、市民が週末にニコニコ楽しく暮らせるねと感じていただく企画です。彩の森入間公園では、バーベキューがあつたり、入間市のグルメ屋台のブースが出たり、朝の野菜市をやったり、すごく家庭的、市民的なお祭りです。それで、ジョンソントウンの方に来ていただいて、文化とか空気を味わっていただきたいということで、ジョンソントウンのツアーやアメ車を展示して米軍ハウスの家を背景にアメ車を並べて、そこで来た方の写真を撮ってあげますよと。それを、すぐプリントしてあげますという企画を立てたりして、そういう昔の文化を味わっていただくフェアが決まりました。個人的には、うちのお店がちょうど3周年記念で、9月にイベントをやろうと思っていたので、早速、入間市のふるさと納税に使っている狭山茶とハーブをブレンドした商品をお買い上げの方々にプレゼントしよう。それと、市報にこのお祭りのことを載せていただいたので、こういう活動をしている、こんな場所があるということ、みんなに知っていただける良いチャンスなので、その時に、ジョンソントウンのお店やこういうお茶がらみで新しいものを提案しているよ、ということを広めていこう </p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>と、今、必死に模索して、あと2週間で形にしなければという所です。以上です。</p> <p>ありがとうございました。まだ、この会議で色々検討中のことが、早くも動き出して来た、全体の背中を後ろから押すというようなことを考えますと、非常に素晴らしいイベントが始まったのかなと考えております。</p> <p>また、アウトレットに関しましても、最近、第一ホテルさんとコラボで何かしないかとかいうような形で、入間市と共存共栄していこうというような姿勢が見え始め、良い方向に少しずつ動き始めているのかなと最近感じられるようになりました。非常に驚いております、ますます良い方に行けばいいなと考えております。</p> <p>ちょっと脇道にそれましたが、今は改訂版のところ、こういうものがありますよということで、相撲とジョンソントンさんの説明をいただいたわけございまして、改訂版含めて、ご意見があれば承りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
椎葉委員	<p>感想としては、お相撲のこと、チーム入間が載ったところが、後から載せてよかったと思いました。</p>
小林委員長	<p>改訂版に関しては、これでご了承いただけるということで良いですか。</p> <p>ありがとうございます。では、これを基にして改めて作るということで、よろしいでしょうか。それでは、スケジュール的に、市庁舎の中でお配りして目を通していただいたという報告も受けております。結果を確認ということですが、今のところ、どういった進捗状況かということにつきまして、ご説明をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
守屋副参事	<p>先日、庁内、役所の中の施策連携会議におきまして、今のコンセプトシー</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>トを配らせていただきまして、この戦略会議の進捗状況を申し上げます。コンセプトシートが出来上がりましたことの報告と、この後それを文書化していく話をさせていただきました。これにあわせて各部に検討をお願いして、今の内容でいいか意見を集約しているところでございます、意見が今月の半ば過ぎに集まってくると思いますので、次回の会議で報告させていただくということで、お願いします。</p> <p>なかなか、庁内の各課の協力が得られないと、いくら良いものが出てきても、皆さんの協力をいただかないと前に進まないということもあります。あまり八方美人的なものでも困るし、出来ないということもありますので、調整をさせていただきながら進めていくというような形になりますので、よろしく願いいたします。それでは、①のシティセールス戦略会議のコンセプトシート改訂版につきましては、ここでしめたいと思います。②のコンセプトシートの更なる検討につきまして議題にさせていただきます。それでは、これに関して説明をお願いします。</p>
守屋副参事	<p>まずは、スケジュールを説明したいと思います。この後、会議は10月16日が6回目の会議になろうかと思います。その時点で、今日お話しいただきましたコンセプトシートを途中、ある程度文書化させていただきまして、会議の前に各委員さんとところにお届けしたいと思います。その資料をもとに協議いただいて、文書化した戦略というのが見えてくるというふうに思っていたきたいと思います。</p> <p>参考資料がありますので申し上げますと、やはりコンセプトシートがあって、数十ページの文書になるということです。</p> <p>概要ですが、前半は状況の把握ということで、当市の統計が持っているものを分析していくのが一般的かと思います。その後、コンセプトシートによっての方向性またその後の展開が主な構成かと思いますが、これにつ</p>

発 言 者	発 言 内 容
山崎部長	<p>いては委員さんからの意見を聞きながら作っていきたいと思います。本編がだいたい50ページ前後のものかと思っていますが、概要版ということで、パンフレットの的に皆さんに渡して分かりやすいものを予定しています。</p> <p>10月に素案が出来てきて、その後、市民の方のご意見をいただくパブリックコメントという時間を入間市の場合取っていますので、それが年明けくらいに取らせていただいて、その後、こちらの会議でもう一度確認を取り、修正等いただいて3月に向けて成案が出来上がって印刷が終わり配布出来ると、と予定しています。</p> <p>パブリックコメントに関しては条例ではなく要綱です。入間市のやり方とすると、まず庁内パブリックコメントというのをやって、市民に公表する前に、庁内のコンセンサスが得られていないと、市民に先に出した時に、役所の内部から反発があってはいけない。最初に、庁内パブリックコメントをやって、修正があったらその上で市民に公表してパブリックコメントをする。</p> <p>パブリックコメントの意味というのは、政策に対する市民の参画ということなので、出来上がっているものに対して、そうではないのではという意見の機会を設ける。それで、出てきた意見に対してそれを修正するかしないかというのは、行政側の判断になるわけですし、この場合ですと戦略会議があるわけですから、そこでまた揉んでいただいて計画書の中に盛り込む、あるいは、その意見は採用しないっていう判断をしていただく。そんなことがあるわけですね。その際に、説明会をして市民に説明するのが一般的なのですが、今回に関しては、説明会という形ではなく、シンポジウムという形でやらせていただいて、そこで説明の形を取るやり方で、進めていきたいと思っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	一言でわかりやすく言いますと、委員さんはずっと議論を重ねて、経過を分かっていますが、一般の人は突然これを渡されてもイメージはわかるけど、今までの議論の積み重ねとかは知らない部分もあるので、ある程度、これを説明できるような資料を含めた形で作って、皆さんのご意見を改めて聞くというような形だと思います。これがOKになれば、また一段上の所にいくというような形になろうかと思っています。
椎葉委員	一般的な市民の感想ですけど、きっと文章になったら、余計わからないなと思ったので、ということは、やっぱり私たちみたいにお祭りをやって、わんぱく相撲とかチーム入間も入っていて、こんな風に楽しくやることを目指している、みたいになるとわかりやすいなと思いましたけど。
関山副委員長	<p>事業として予算化するにしても、どこから手を付けていけばいいかわからないし、自分で事業化をと言っても、議会から要求されているものではないので、公務員は皆わかっているのに動けないのですよ。だから、審議をした結果で、こうですよ。住民の方はもっと読まなくなるかもしれないけど。これを、執行機関として参照してくださいというふうにしていかないといけないというのが一点目。</p> <p>二点目は、皆さんだって入間市すべての責任をもってアイデアを出せるわけがないので、そうすると、自分たちに責任が来ると困りますよね。だから、ちゃんとパブコメで聞こうよ、 としていかないと、多種多様な意見は取り入れられないと思う。要綱だったらパブコメなんてやらなくたっていいのです。条例は、どんどん公開して意見聴取しましょうとなるけど、要綱だったら本当はやらなくていいと思う。ところが、今回はちゃんと市民の方に情報を開示して意見を聞こうということになっているので、非常に筋の通ったやり方だと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
山崎部長	<p>パブリックコメントそのものは、こういった計画書に対する意見をもらうのですが、これを読む人って、よっぽどの人じゃないとしない。だからこそ、シンポジウムでもっとざっくりとしたものをお見せして、そこで議論をしているところなんかも見てください。そこで、わんぱく相撲という話もありましたので、見せられれば面白いかなとは思いました。</p> <p>中学生横綱の土俵入りなんかを、そういうところでパフォーマンスでやっていただくとかいうことがあれば、見ている方も面白いかもしれないですね。現実、出来るかどうかは別にして、アイデアとしては面白いですよ。</p>
関山副委員長	<p>相撲は礼儀であって、社会的な教育という説明をいただきましたけど、入間市の子どもたちに一番重要なものだと思います。他は絶対まね出来ない熱意をもってやっているわけですから。</p>
小林委員長	<p>全国の大会で、二年連続優勝、ジョンソントンさんが新たなイベントを起こすということは、マイナスじゃなくて必ずプラスの方向に行くのかなという風に思います。そういった手続きを取りながら一步一步前に進めていきたいと思います。一般市民の皆さんの意見を聞く前に、意見を承れたらベストかなと思います。もう一回、文書を作って皆さんの意見を聞く場があるかと思います。もう一度資料を見ていただいて、次の会議の時には、ぜひまた貴重な意見を賜ればと思います。</p>
受託業者	<p>戦略プランというのは、皆さんに議論していただいたコンセプトシートが基になります。ですから、木で言えばこれが根であり幹であって、まずはこれを活かすってことを考える。あとは、枝葉の部分が必要になるので、全段階で入間の歴史であるとか、統計的なデータとか、シティセールスというのが一般的にどういうものなのかみたいなのを、概略として説明</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>させていただいて、そういうものだとご理解していただければと思います。その後、本編の皆さんに議論していただいた内容がきて、ここが中心になってきます。それを具体的にどういう風にアクションしていくかということも、皆さんの議論の中にもありましたので、そういったことを肉付けして行って、全体のバランスを調整した上で、プランを作成いたします。</p> <p>だいたいご理解いただいたということで、よろしいでしょうか。</p>
関山副委員長	<p>ジョンソントウンのイベント、チラシを拝見させていただくと、主催にたくさん企業がありますがもう少しお話し聞かせてもらえますか。</p>
椎葉委員	<p>社長さんも含めて景観大賞を取った時に、この賞が建物と街並みを造ろうとして一生懸命頑張ってきて、どこかで家族の笑顔とか気にしていたらしいのです。やっぱり笑顔で住みやすいとか、長く住みたいとか言われると幸せだったりして。それを、今回賞をもらった時に、建物と景観以外にこの暮らして言われたのが、社長さんと所長さんはすごく嬉しかったそうです。</p> <p>去年の暮れに初めて住んでいる子どもたちのクリスマスに歌のお祭りをやったのですが、子どもたちの笑顔がすごく素敵で、賞をもらった内容につながったので気持ちとしてはそこが大きくなってきたって言っていました。中でも、暮らしている人のためにやろうと思っていた内容が、だんだんジョンソントウンは店をやりながら暮らす人も増えていて、この暮らしを一生懸命提案しているのは店だったり、店の協力がすごく大きかったりしている。店の話も聞いてあげないといけない、それどころか店の協力をすると良いことがあるというのが分かって、このお祭りは、言うならば市民というよりも店の人たちのきっかけ作りかもしれないから、それはぜひ協力すべきだ、しないとならないと思っているそうです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>正直、このお祭りをやるのも、打ち合わせを何回も重ねている時に、いつも驚くのが、手探りで全く分からないそうです。これをやったら自分たちの暮らしが提案できるのかもわからないし、店をやっている人間じゃないから、どう企画して仕掛ければいいのかもわからない。だから結果として、みんなが楽しそうで、その楽しそうな暮らしを見に来れた、という結果を作ろうと思って、受け入れてくれている状態で、企画を出している状態ではなく、受け入れてくれている状態。</p>
小林委員長	<p>入間市全体も何となく変わっていく。周りが動くことによって、ジョンソントンタウンという限られたエリアではありますが、それが広がって入間市中になれば、またそれなりによくなるかなと。</p>
椎葉委員	<p>あと、社長さんから先日言われたことは、ジョンソントンタウンとお茶をくっつけられないか考えて欲しいと。自分は入間市にいて思うことは、ジョンソントンタウンは新しいことをやっていて、閉鎖的な人たちにしてみると、新しすぎてなんだって反感を買っているような気がしていた。それが、もし受け入れられているとすれば、閉鎖的なことも、ジョンソントンタウンがやるならちょっと許されるのではないか。だからお茶をまともに売ろうとするのが無理でも、お茶をジョンソントンタウン風にひねって提案するなら怒られないだろうから、それを考えてくれと言われたので、いや、私もう考えていますと言ったところ、これ以外にも飲食店でお茶を使った料理を出すとか、和のお茶と思われない世界のお茶みたいに思ってもらえるようなことを、ジョンソントンタウンが考えるってことを広めてくれないかと、地域密着の考えでした。</p>
小林委員長	<p>ジョンソントンタウンやなんかで、こういうことを始めて、評判が上がってくれば、だんだん生産農家の人もそれを無視できなくなるというのが現実か</p>

発 言 者	発 言 内 容
関山副委員長	<p>なと思いますね。</p> <p>ということは、アクションプランの根みたいなのは、ちょっとずつ確実に動き始めている。実績で一個出来てくると、それはすごく動きやすいですよ。だって、市民の方がやったださっているんで支援しますって言いやすくなるので、無理やり風を起こすのは大変だけど。</p>
椎葉委員	<p>ジョンソントウンは自発的に動き始めています。</p>
小林委員長	<p>ある程度の条件が整って安定してくると、果たしてこれでいいのかなと、だんだん思い始めます。よく言うのは、学生気分が抜けるのに10年かかる。仕事を始めて仕事に慣れる、今まで親からお小遣いをもらっていたのが、自分が稼いだお金だから自分で使えるようになる。あれも欲しい、これも欲しい、そうこうしている間に仕事も慣れて、ふと気が付いたら、俺ってこんなんでいいのかな、もう少し周りとの付き合いをしなくていいのかな、と思うのに10年くらいかかるのだそうです。それと同じような形で、なんとなく時間が経つと考え方が変わっていく可能性もあるのかなという風に思います。良いタイミングですので、この機会を逃さず、入っていくのが良いですね。</p>
関山副委員長	<p>もう一つ。先週、山梨県へ行きました。入間市の大型商業施設は皆知っていて、二週間に一度の割合で、山梨県の方は中央高速にのって皆ここに来ています。ちょっとびっくりした。ほとんど来ていますね。でも、お店をを目指すのであって、そこで疲れちゃって早く帰りたいから帰ってしまう状態は間違いない。だけど、一方で集客力はあることは事実だから、変わっていく可能性は高い。</p> <p>あと、このシティセールスのコンセプトシートの中では、基本的には見て</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>もらう。来てもらって、相撲なりジョンソントウンを見てもらって、子育てを本当にしやすい街だなとか、ここは憂いがあるとか。ではジョンソントウンみたいなものを安く作れるのだったら、古民家や空き家があるから、若い人たちに来て貰うという考え。</p> <p>しかし、お相撲さんの関係とかっていうことになると、海外からの呼び込みも可能だと思います。海外向けに発信をしていくと、やっぱり相撲ってというキーワードで検索をしてきて、相撲、イルマシティっていうことになれば、人呼べると思います。そういう風にやると、ほとんどコストを掛けずによその国から来てもらうのが可能でしょう。ウェブ上でフランス語や英語で紹介すればいいだけの話なので、なんか無茶ぶりをする必要はないです。</p> <p>どういふうに媒体にうまく載せるかが重要になってくる。この間、テレビで鎌倉高校のあたりが、中国人が多くいらしているという報道がありました。漫画の「スラムダンク」という作品の影響のようです。ただ単に、漫画の舞台というだけで、それだけで来るわけですから。</p>
関山副委員長	<p>例えば、イギリスでは「スラムダンク」を見たいと思った時に、「スラムダンク」と藤沢市を考えるでしょう。イギリスのウェブで検索をするわけです。だから、末に j p なんか引っかけられないのですよ。なのに、日本人は英文に j p を入れているのです。だから、引っかけにくい。ドットコムとか、そういう風にやっていくことによって、ほとんど金を掛けずに海外に発信することが可能になる。だから、やれることはいっぱいあるってことですよね。入間市は、本物の相撲だし、彼らからするとワッと思います。宝がいっぱいあって、海外に発信するのは不可能じゃない話だと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
椎葉委員	海外の人が検索するのって、忍者、侍、相撲。そういうキーワードですよね。それで、ここが出てきたらいいですね。
西澤委員	今、稽古合宿は年に一回です。これを、定期とはいわないけど開催するにはどうしようかと。呼べるのが年に一回ではなくて、複数回にわたってそういうイベントが出来るようにするには、なにか考えないと。
小林委員長	今までは、合宿に来ているだけですから、受け入れ側もたいして準備をしていなかったと思うので、もうちょっとこれを前面に出すとなると、受け入れ態勢から何かから、それも全部考えていかなければならないということで、かなり大掛かりなものになってしまうと思うのですが、相撲人気の底辺だとか、入間市の取り組みだとかを考えると、必要なこと大切なことかなとは思いますが。
関山副委員長	<p>地元の人も、お金が入って儲からないと厳しいと思うのです。</p> <p>相撲に一生懸命努力されていても、やっぱりそれなりの運営経費がかかるでしょう。だからもし、こういうようなことをシーズンで4クールくらいやるとしたら、今はボランティア的に相撲をちゃんと見てくださいよってやられていると思うのですが、お金とれますか。</p>
西澤委員	今は無料です。
関山副委員長	お客さんに来て貰うのなら、ちゃんこを振る舞うだけではなくて、有料でも全然おかしいことではないと思います。相撲協会さんとの関係でできないとかあるのですか。
西澤委員	いや、それは大丈夫。問題ないです。

発 言 者	発 言 内 容
受託業者	<p>継続できるような仕組みがないと、それにはやっぱりお金が必要になってくる。</p>
関山副委員長	<p>ボランティアではダメだと思う。お金が返ってこない。</p>
椎葉委員	<p>何よりも思うのは、わんぱく相撲とか、子どもを育成するのにお金がかかりますものね。そういうことが回っていくように、見せる相撲と教育の相撲でうまくお金が回っていかないといけない。</p>
小林委員長	<p>食べるものにはものすごいお金がかかります。 システム作りも、どういう組み合わせで、幾らくらいの料金で来ていただくか、トータルで考えていかないといけない。</p>
西澤委員	<p>海外の方々が喜ぶ、相撲という概念で捉えると、まげがあって、大きなお相撲さんが相撲をとるイメージがあると思う。海外のメディアからしたら、本物の大相撲になってくるわけです。そうすると、入間は、大相撲とわんぱく相撲がありますが、今、可能性があるのは大相撲だと思います。わんぱく相撲という概念ですと、教育とか子どもたちのためっていうのがあるので、大人は動くのですが、大相撲となると、今おっしゃられた通り、ある程度の金銭の授受、要するに潤いがないと出来ないと。大事なのは、不景気で年に一回やりましたではなくて、年に二回とか必ず毎年やっていけるような何かを作っていないと。そこを詰めて話をして見たらどうかと思ったのですが。</p>
小林委員長	<p>今の話でふと思ったのは、実は今月の連休に中国のお客さんがたくさん来ます。なぜかと言うと、中国国慶節でみんな旅行に行くのです。アウトレ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ットも通常で来ると、富士山を見て御殿場のアウトレットに寄るから、入間のアウトレットには寄りません。例えば、相撲合宿と大型商業施設での買い物を組んで、中国の旅行会社に売り込んでコースの中に入れてもらうとか、そういったこともやれば、また変わってくるかなと思います。情報がないと、そういった判断が出来ないので、商業施設の方も中国のお客さんを呼びたいと言っています。その辺がうまく合致すれば面白いかな。そういうのを中国の旅行会社にセールスする。うちによく来る旅行会社をアウトレットの人に教えたら、入間の商業施設に寄るようなコースをぜひ考えてくれっていうようなことを話していたので、うまく合致して、相撲見て商業施設に行ってみたいな、力士と一緒に写真を撮って、抱っこしてもらってというのがセットでであって、春日野部屋の方にもお礼である程度差し上げられてというようなことであれば、また違った展開になってくるかなと思いました。</p>
椎葉委員	<p>海外の人、特に中国の人たちは、お金を落とす意味では、さっき言った侍、忍者、相撲もそうですけど、もう一つはメイドインジャパンと機械が好きじゃないですか。そしたら、チーム入間は精密機械ですよ。だから、ここではそういうものが特別に買えるとなれば複数で組み合わせるといい気がしますけどね。</p> <p>特に今は、生活必需品もメイドインジャパンじゃないと韓国の人と日本人は買わなくなっているし。</p>
小林委員長	<p>ピンポイントで一点突発的な発想というのが必要かなと。それから、だんだん広がっていく可能性が出てくると思います。</p> <p>事務局の方からその他何かありますか。</p>
守屋副参事	<p>先程お配りした資料の補足で、冊子を作るもとなるコンセプトシートの</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>資料もお持ちいただけるということでお配りします。</p> <p>もう一つ、この会議とは別のスケジュールで先程申し上げましたが、月末になります。私ども職員の方で愛知県豊橋市に施設の研修、視察に行つて参ります。その様子を次回の会議で報告させていただきたいと思ひます。同じく付随の関係で、1月にシンポジウムを予定しています。1月30日になりますが、産業文化センターホールを予定しています。魅力をどう伝えるか、どう検討したかということになると思ひますので、何かアイデアがありましたらお願いいたします。</p> <p>それから、前の話になりますが、7月に入間青年会議所さんがシティセールスを勉強したいということで、例会で研修会というかトークセッションをさせていただきましたのでご報告いたします。以上です。</p> <p>ありがとうございます。それでは、委員さんの方から何もないようでしたら、これで第5回入間市シティセールス戦略会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	